

編集後記

古館伊知郎氏が報道ステーションを辞めたときの最後のコメントで、

「電波を使って善かれと思つてしゃべらせてもらつていたが、どこかで誰かが絶対傷ついている」という旨の発言をなさっていました。それは全く同感で「表現／主張する」ということは、自分の意図とは別に『誰かを傷つける』可能性がある、故に「自分の表現／主張したことが他に与える影響をイメージネーションせよ」は、表現／主張する者にとつて常に肝に銘じておかなければならないことだと思つていきます。

PROBEを発行しようと思つた動機は、前号の座談会で大林先生が「まずはその記録（注：二〇〇五年に行われたシンポジウム）を残したい」という目的もありましたが、さらには北海道内の演劇活動をもう少しきちんとまとめて発信できたらいかな」と述べていました。この小冊子を発行する思いは、まさにそういうところから始まり、「私たちは新しいものを創造していくだけではなく、保存していく、残していく」ということに気を配ることも必要なかもしれない」（前号『編集後記』）という思いで続いていると思つていきます。

ですから、今のところこの冊子を通して、この思い以外に何かを声高に主張するつもりはありません。もちろん何かの「主張」を退けるつもりもありません。ただこのPROBEに載つた「主張」に相反する「主張」も等しく扱いたいと思つています。そしてなにより、このPROBEで何かの主義や運動組織、個人等を糾弾したり、否定したりするつもりは全くありません。PROBEを発行する動機に、そのような意図は全くありません。

にもかかわらず、前号の座談会の内容に、前述したような思いを持つているのにもかかわらず、関係者の方に迷惑をおかけした部分がありました。心から謝罪するとともに、編集に関しては最新の注意を払わなければいけないと、改めて気を引き締め直しました。

忙しさにかまけて、至らぬ点が多々あるかと思ひます。この冊子に関して、何かお気づきの点があれば、遠慮なくご指摘いただければ幸いです。

(marum)

責任編集 村松幹男
編集委員 森一生・田光子・平井伸之・野田頭希
表紙デザイン 森井綾

舞台芸術通信 PROBE (プローベ) 第 11 号

2017 年 3 月 5 日発行 (非売品)

発行所 北翔大学北方圏学術情報センター ポルト

舞台芸術研究プロジェクト

(ポルト共同研究プロジェクト 舞台芸術研究グループ)

〒069-8511 北海道江別市文京台 23

北翔大学教育文化学部芸術学科舞台芸術分野内

PROBE 編集事務局 (村松研究室)

TEL.011-386-8011 (代表)

印刷 (株)アイワード